

広島県事業所工賃向上計画（令和6年度～令和8年度）

作成年月日 2024/4/25

変更年月日

1 事業所基礎情報

事業所番号	3411100187		
法人名	社会福祉法人尾道さつき会	法人代表者名	平石 朗
事業所名	すだちの家	利用定員	15名
事業所住所	〒722-1563 尾道市御調町植野528番地3		

2 作成者情報

管理者（責任者）	徳山 佳久	担当者	河原 真理江
電話番号	0848-77-1122	e-mail	sudachinoie@satukikai.com

3 目標工賃の設定

月額

※令和6年度から月額のみを設定に変更されています。

4 目標工賃

(単位：円)

区分	令和5年度	令和5年度	差 額	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標額	実績額	実績-目標	目標額	目標額	目標額
月額	27,000	26,322	-678	27,027	27,125	27,222

(注) 目標額は、国の指針（令和6年3月29日障発0329第42号厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部長通知）に基づき、次の項目を勘案して設定すること。

- 各事業所の令和5年度の平均工賃実績
- 地域の実情を踏まえ、障害年金と合算して障害者が地域で自立した生活を実現するために必要な収入
- 地域の最低賃金や一般雇用されている障害者の賃金
- 各都道府県の目標工賃

5 収支計画（実績）

(単位：円)

区 分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	実績額	計画額	計画額	計画額	
収支計画（実績）	歳入	23,688,004	24,560,000	24,660,000	24,760,000
	年間売上額	23,688,004	24,560,000	24,660,000	24,760,000
	工賃変動積立金				
	設備等整備積立金				
	その他収入				
	歳出	23,688,004	24,560,000	24,660,000	24,760,000
	年間工賃支払総額	4,674,862	4,800,000	4,850,000	4,900,000
	運営経費	19,013,142	19,560,000	19,610,000	19,660,000
	工賃変動積立金	0			
	設備等整備積立金	0	200,000	200,000	200,000
その他支出	0				
平均工賃の算出	延べ支払対象者数 (各月支払対象者の合計) ①	227			
	年間延べ利用者数②	3,533	3,730	3,750	3,770
	延労働時間③（参考）	17,453	18,438	18,500	18,550
	開所日数④	240	253	253	253
	開所月数⑤	12	12	12	12
	年間工賃支払総額【再掲】⑥	4,674,862	4,800,000	4,850,000	4,900,000
	平均工賃月額（旧算定方式）※ (⑥÷(②÷④)÷⑤)	20,594			
	平均工賃月額（新算定方式）※ (⑥÷(②÷④)÷⑤)	26,322	27,027	27,125	27,222
平均工賃時間額（参考） (⑥÷③)	268	260	262	264	

※令和5年度の平均工賃月額は、旧算定方式（参考値）と新算定方式それぞれで算出すること。

※令和6年度からの平均工賃月額は、新算定方式で算出すること。

6 就労（生産）活動の内容

(1) 就労（生産）活動の分野

ア 現在行っている就労（生産）活動（令和5年度実績）（複数選択可）

① 菓子製造・販売	<input type="radio"/>	⑪ リサイクル事業（空き缶・ペットボトル・プラ等）	<input type="radio"/>
② パンの製造・販売	<input type="radio"/>	⑫ 郵便物等の発送（封入・仕分け・発送）	
③ 弁当・惣菜の製造・販売		⑬ 軽作業（部品組立・検品・袋詰・シール貼り等）	<input type="radio"/>
④ その他の食品の製造・販売	<input type="radio"/>	⑭ 農作業請負（農作業施設外就労）	
⑤ 農産物の製造・販売	<input type="radio"/>	⑮ その他施設外就労	
⑥ 雑貨製造・販売		⑯ PC関係（データ入力・WEB・デザイン等）	
⑦ レストラン・飲食店		⑰ その他（下記に具体的に記載）	<input type="radio"/>
⑧ 印刷			
⑨ 清掃・洗浄・洗車	<input type="radio"/>	カレンダー制作、販売	
⑩ クリーニング			

※令和5年度に行っていた就労（生産）活動に「○」、その他は、具体的内容を記載の上、「○」を選択してください。

イ 上記のうち、売上の上位3位の状況（令和5年度実績）

順位	分野	売上額（円）	活動内容（製品、請負作業等の具体的内容）	施設外就労
1	⑤農産物の製造・販売	13,014,131	ほうれん草、水菜などの葉物野菜の生産、販売	—
2	④その他の食品の製造・販売	8,024,992	クッキー（パン含む）の製造、販売	—
3	⑬軽作業（部品組立・検品・袋詰・シール貼り等）	669,986	ダンボール箱の袋詰め	—

(2) 施設外就労の実施状況

区分	令和5年度
	実績
実施の有無	有

(3) 在宅就労の実施状況

区分	令和5年度
	実績
実施の有無※1	無
在宅利用者の割合※2	

※1 運営規程に在宅で実施する訓練及び支援内容を規定している場合は「有」とすること。

※2 在宅利用者の割合は、毎年度3月の実利用者数に占める常時（利用日数のうち概ね6割程度以上）在宅で実施する訓練及び支援を受けている実利用者数の割合を記入してください。

（例：3月の利用者15名のうち1名が在宅利用者の場合：1名÷15名＝6.7%）

(4) 農福連携の実施状況

区分	令和5年度
	実績
実施の有無	有
開始年度	平成24年度
農福連携の収入（売上）額（円）	13,014,131
全体売上に占める割合	54.9%

（注）令和5年度の実施の有無を記載すること。

※1 開始年度は実施「有」の場合に記載（例：令和2年度から実施している場合は「令和2年度」、令和5年度から実施している場合は、「令和5年度」、実施していない場合は「—」とすること。

※2 農福連携の収入（売上）額は、実施の有無が「有」の場合は、令和5年度の実績額を記載すること。

7 就労（生産）活動の現状、課題、具体的な取組方策

(1) 現状及び工賃向上での課題（令和5年度の状況）

ア 現状及び工賃向上での課題（総括）

【就労（生産）活動における現状と課題について、具体的に記載してください。】

①水耕栽培
売上の増加を図るためには、野菜出荷量を増やす必要がある。収穫回数の見直しが必要である。

②食品製造
遠方からの注文（企業）が継続し、クッキーの出荷が増加傾向。パン製造量を絞り、クッキー製造量を徐々に増加してきた。今後もクッキー製造を増やしていく必要がある。

③共通
材料光熱費の高騰により、商品製造にかかる経費割合が高値になる。材料選定を精査しているが、追いつかない状況。

イ 工賃向上のために解決すべき課題事項（複数選択可）

① 魅力的な商品の開発ができない		⑥ 生産性が低下した利用者が増えている	<input type="radio"/>
② 販売（受注）先が限定されている（新規開拓ができない）	<input type="radio"/>	⑦ 作業に入れない利用者が増えている	<input type="radio"/>
③ 商品を作っても売れない		⑧ 職員の作業負担が増えている	<input type="radio"/>
④ 販売（受注）単価が低い	<input type="radio"/>	⑨ 職員のスキルが十分ではない	
⑤ 単独受注が難しい（他事業所との繋がりが弱い）		⑩ 企業との連携ができていない	
⑪ その他（商品出荷数増、材料光熱費や配送料の高騰）			<input type="radio"/>

※工賃向上のために解決すべき課題事項に「○」、その他は、具体的内容を記載の上、「○」を選択してください。

(2) 令和5年度の工賃向上の取組の点検・評価

【令和5年度の目標工賃の達成状況の点検及び評価について、具体的に記載してください。】

栽培計画を修正し、収穫回数を増加した。野菜卸単価の高い納品先の精査を行い、優先的に販売できるように変更を開始。徐々に、売上金額が回復してきている。計画に沿ってクッキー製造増産を行った。関東方面企業からの受注対応、法人内職員、町内関係機関へ販売促進（注文書配布）を行い、売上確保に繋がった。材料光熱費を抑えるために材料発注時の精査や、配送料削減のため梱包の工夫を行っているが、限界がある。

(3) 令和6年度以降、計画している改善策

※(2)の点検・評価結果を踏まえて記載

ア 工賃向上のために計画している改善策（複数選択可）

① 商品企画力の向上		⑥ 作業工程の見直し	
② 販路開拓	<input type="radio"/>	⑦ 利用者のためのICT機器の導入	
③ 販売力の向上		⑧ 職員の負担軽減のためのICT機器等の導入	
④ 販売価格の見直し	<input type="radio"/>	⑨ 管理者・職員への意識啓発	<input type="radio"/>
⑤ 他事業所とのネットワークの構築		⑩ 市町・企業、他事業所との連携	<input type="radio"/>
⑪ その他（商品出荷数増に向けた生産数増、安定。作業評価の見直し。材料光熱費や配送料の経費削減工夫。）			<input type="radio"/>

※上記の取組点検・評価の結果、工賃向上のために取り組む事項を「○」、その他は、具体的内容を記載の上、「○」を選択してください。

イ 改善に取り組む就労（生産）活動と取組内容（重要な取組3つまで）

1	活動内容	水耕事業
	改善策	①その他
	改善に向けた取組内容	年間計画を見直し、水耕栽培の野菜出荷量を増やす。収穫回数が増えるため、作業日を増やす。販路を開拓する。
2	活動内容	食品事業
	改善策	①その他
	改善に向けた取組内容	年間計画を見直し、クッキー製造量を増やす。中間製品（クッキー生地）が増えるため、冷凍庫を購入して適正温度で保管管理する。販路を開拓する。
3	活動内容	共通
	改善策	①その他
	改善に向けた取組内容	利用者の作業状況を確認し、9月の定期作業評価を行う。経費削減方法の検討。

※改善に取り組む活動と改善の具体的内容について、重要と考えるものを3つまで記載してください。

(4) 各年度に取り組む具体的な方策

ア 令和6年度に取り組む具体的な方策

(3)の内容を踏まえ、目標工賃を達成するために令和6年度に取り組む具体的な方策を記載してください。
①年間計画を見直し、水耕栽培の野菜出荷量を増やす必要がある。収穫回数が増えるため、作業日を増やす。販路を開拓する。
②年間計画を見直し、クッキー製造量を増やす。中間製品（クッキー生地）保管量が増えるため、冷凍庫を購入する。
③経費削減の継続的取り組み。

イ 令和7年度に取り組む具体的な方策

(3)の内容を踏まえ、目標工賃を達成するために令和7年度に取り組む具体的な方策を記載してください。
①、②、③前年度の取り組みを受けての計画の見直し 商品の販売価格の見直し（適正価格の検討） 令和7年度新規納品先1ヵ所確保

ウ 令和8年度に取り組む具体的な方策

(3)の内容を踏まえ、目標工賃を達成するために令和8年度に取り組む具体的な方策を記載してください。
①、②、③前年度の取り組みを受けての計画の見直し 令和8年度新規納品先1ヵ所確保

(5) 事業所の理念・運営方針の共有

事業所の理念・運営方針について、管理者が中心となり、事業所全職員、利用者及び家族に示し、共有したか。	共有した
--	------

(6) 工賃向上計画の共有

工賃向上計画（PDCAサイクルの確立）について、管理者が中心となり、事業所全職員、利用者及び家族に示し、共有したか。	共有した
--	------

(7) 工賃向上計画の推進体制（責任者及び主な職員10人まで）

	役割	氏名	役職・職種
責任者及び運営体制	1 統括責任者	徳山 佳久	管理者
	2 個別支援計画の作成、営業	河原 真理江	サービス管理責任者
	3 生産管理・作業工程管理・修繕計画	小林 隆	目標工賃達成指導員
	4 日常生活の相談・指導、営業	有田 英恵	生活支援員
	5 職業訓練	後藤 恵美子	職業指導員
	6 職業訓練	広国 裕希	職業指導員
	7 技術指導	木村 敏雄	就労支援事業指導員
	8 技術指導	新宅 玲子	就労支援事業指導員
	9 就労会計・財務管理	川井 理華	財務事務員
	10		

※令和6年4月1日時点の体制を記載してください。

8 利用者の状況 ※年度中に事業所を利用した実人数としてください。

(1) 利用者の障害区分 (単位：人)

区 分	令和5年度 実績
身 体 障 害	1
知 的 障 害	15
精 神 障 害	3
発 達 障 害	1
そ の 他	1
合 計	21

(2) 利用者の生活状況 (単位：人)

区 分	令和5年度 実績
独 居	3
家 族 と 同 居	14
施 設 入 所 等	4
合 計	21

(3) 利用者の支援区分 (単位：人)

区 分	令和5年度 実績
区 分 1	0
区 分 2	2
区 分 3	2
区 分 4	4
区 分 5	2
区 分 6	0
非 該 当	11
合 計	21

(4) 利用者の年齢構成 (単位：人)

区 分	令和5年度 実績
18 歳 未 満	0
18 歳 ～ 24 歳	1
25 歳 ～ 34 歳	7
35 歳 ～ 44 歳	2
45 歳 ～ 54 歳	5
55 歳 ～ 64 歳	6
65 歳 以 上	0
合 計	21

9 利用者の就労（生産）活動への満足度

利用者が事業所での就労（生産）活動にやりがいを感じているか（利用者アンケート）

(単位：人)

項 目	はい	いいえ	どちらとも いえない	合計
① 就労(生産)活動を続けることで出来ることが増えた	13	1	5	19
② 利用者同士の交流など、仲間との関わりが楽しい	9	3	7	19
③ 困ったときに支援を受けることができ、安心して就労(生産)活動ができています	11	2	6	19
④ 希望に合わせた就労(生産)活動ができるように対応してもらえる	12	4	3	19
⑤ 就労(生産)活動での個別支援計画の目標達成に向けて取り組むことができています	13	3	3	19
⑥ 就労(生産)活動を通じて工賃を貰えることで、やりがいを感じている	12	0	7	19

※令和6年4月1日時点の利用者について、上記項目をアンケートした結果を記載してください。

(注) 各項目の合計人数は一致させるようにしてください。

<事業所工賃向上計画の変更理由>

次の理由から、事業所工賃向上計画を変更します。

※各年度、変更後の計画を県に提出する際に記入してください。

変更計画提出日	変更箇所	変更理由